

長崎県離島振興計画

< 概要版 >

令和5年4月

長崎県地域振興部

1 基本理念

ながさき しまの創生 ～しまの人口減少に歯止めをかける～

離島地域は、我が国の領海、排他的経済水域の保全や「癒しの空間」の提供、食料の安定的な供給など国家的・国民的に重要な役割を果たしており、地域の衰退が進むとその役割を果たせなくなるおそれがあります。

そのため、本県においては、「ながさき しまの創生 ～しまの人口減少に歯止めをかける～」を旗印に各種施策を積極的に展開するとともに、離島の特性を生かした「新たな日常」の実現や持続可能な地域社会の維持への対応など次の時代に合った新たな離島振興を推進していきます。

2 基本的方向性と重点施策

(1) しまの地域資源を最大限に活かした産業活性化と交流人口拡大

情報通信技術の進展を踏まえ、「場所に制約されない働き方」の普及に必要な情報の提供

養殖の沖合進出及び AI・IoT 機器導入等の先進的な生産体制の構築

「しま旅」の持つ魅力発信とニーズを踏まえた地域資源の磨き上げに対する支援

「高校生の離島留学制度」の継続実施のほか、しまの豊かな自然や文化等を活用した体験活動や修学旅行の実施による「生きる力」や「郷土を愛する心」の育成

複数の離島間や本土・離島間の周遊促進や長期滞在型交流の推進など、国内外の地域との交流促進

国や大学等の研究機関等と連携した海洋研究の推進

再エネ海域利用法に基づく促進区域における洋上風力発電事業に関連した県内企業の参入促進、産業振興

(2) しまの産業を支える人材の確保・育成

地域住民と違った経験・知見を持つ島外人材の誘致、定住・定着による人材活用場の創出

農林水産業の将来を担う人材の確保及び育成

リモートワークやワーケーションに関する情報発信、相談機能や受入体制の整備

(3) しまの不利条件の克服としまの重要性の発信

ジェットfoilやフェリー等の船舶の新造・更新の促進

補助航路における「離島住民運賃割引制度」や国の交付金を活用した航路運賃の低廉化

流通の効率化など物資の流通に要する経費の低廉化

観光地等と港湾・空港、観光地間、集落と第2次救急医療施設を結ぶ道路（橋梁を含む）などの交通円滑化

光ファイバーや5Gなどのデジタル基盤の整備・維持管理

高度情報通信ネットワーク及び情報通信機器を活用した遠隔医療にかかる体制整備

公立学校の適正配置及び教職員定数、処遇についての配慮

3 講じようとする分野別の施策（県・市町）

（1）総合的な交通体系の整備

ジェットfoilやフェリー等の船舶の新造・更新促進

ターミナルのバリアフリー化など離島の海の玄関口である港湾・漁港の受入態勢の強化

利用しやすいダイヤ設定や運賃の適正化による収益性の確保、離島航空路線を運航する航空機の更新等による離島航空輸送の維持・存続

広域的な幹線系統の維持の方針に基づいた「長崎県地域公共交通計画」の推進による生活交通の維持・確保

観光地等と港湾・空港、観光地間、集落と第2次救急医療施設を結ぶ道路（橋梁を含む）などの交通円滑化

（2）人の往来及び物資の流通に要する費用の低廉化

特定有人国境離島地域社会維持推進交付金を活用した離島住民の運賃低廉化

補助航路における「離島住民運賃割引制度」による運賃割引の支援

特定有人国境離島地域社会維持推進交付金や離島活性化交付金を活用し、農水産品、戦略産品の物資の流通に係る輸送コストの低廉化を支援

配送等への無人航空機（ドローン）の活用

（3）デジタル化やDX推進による条件不利の克服及び安全・安心な生活に必要なデジタルインフラの確保

光ファイバーや5Gなどのデジタル基盤の整備・維持

デジタル化やDXの推進

（4）産業の振興

農林業

スマート農業、生産基盤整備等による生産性向上や規模拡大、低コスト化や農業のグリーン化等による産地の育成・強化

スマート畜産技術を活用した収益性向上、作業の共同化、分業化を行う支援組織の育成等による肉用牛の振興、スマート林業等による木材生産量の拡大

オンラインセミナー等遠隔地との就農相談の実施、情報発信や技術修得支援など、UIターン者等の島外からの就農促進の強化による担い手の確保

農産物の地産地消や食品製造業等との連携による6次産業化の推進、地域の特性を生かした農泊の推進等による関係人口の拡大

水産業

漁業の魅力や就業情報の発信、受入体制の強化等による地域の生産力を支える多様な人材の確保・育成

ICT を活用したスマート水産業等の推進による漁業者の経営力強化と環境変化に強く収益性の高い魅力ある経営体の育成、適切な資源管理の推進と漁場づくり

養殖の沖合進出及び AI・IoT 機器導入等の先進的な生産体制の構築、安定供給等による県産水産物の国内外での販売力強化

水産業や漁村が持つ多面的機能の発揮に資する海業等の活動支援や漁港施設の有効活用による交流・関係人口の拡大

水産動物の生育環境の保全及び改善

増殖場、魚礁漁場の整備及び藻場の再生や沖合の生産力増大に資する漁場づくりの推進

その他の産業

エネルギー産業など離島特有の資源を有効に活かした産業の育成

離島地域の特性に即した新たなビジネスの創出の支援

まちなかのにぎわいを創出する核となる商店街の機能強化

情報通信産業関連企業の立地促進とともに、課題解決の取組支援による立地企業の規模拡大の推進

情報通信技術の進展を踏まえ、「場所に制約されない働き方」の普及に必要な情報の提供

(5) 就業の促進

就農・就業相談体制の強化や産地と JA が就農希望者を受け入れる産地主導型就農ルートの整備・推進、林業事業体の経営改善・強化等による新規自営就農者・就業者の確保・育成

地域主体の漁業就業希望者等の受皿組織の設置や着業前後のフォロー体制の強化、並びに技術習得支援、漁業リース等による研修期間中の生活支援や初期投資の軽減

職業訓練や各種セミナーなどを通じた、地域実情に対応した人材育成等の支援による職業能力の開発

情報通信技術の進展を踏まえ、「場所に制約されない働き方」の普及に必要な情報の提供

リモートワークやワーケーションに関する情報発信、相談機能や受入体制の整備による関係人口の拡大推進

(6) 生活環境の整備

水道施設の計画的な統廃合の推進と安定的な水供給の確保

下水道や浄化槽など、各地域に最も適した污水处理施設の整備促進

廃棄物の品目に応じた島内完結型処理に向けた収集体制の確立

Uターン促進に向けた空き家の利活用の促進、移住や二地域居住など多様な住まい方を提供できる住宅供給

交通安全、防犯、消費生活、食の安全・安心確保など安全・安心なまちづくり

(7) 医療の確保等

地域医療を担う医師や歯科医師及び看護師等の医療従事者の確保の推進
長崎県病院企業団病院と地域の医療機関の連携強化による医療提供体制の構築
高度情報通信ネットワーク及び情報通信機器を活用した遠隔医療にかかる体制
整備

島外への入院・通院に必要な交通費支援など保健医療サービスの格差是正

(8) 介護サービスの確保等

島内人材の活用や、移住者、外国人材の受入等による介護従事者の確保、介護
ロボットやICTの導入促進、施設整備

介護サービス利用にかかる他の地域との格差是正

障害者福祉サービスに従事する職員の負担を軽減するための介護ロボットや
ICTの導入促進

医療的ケア児や発達障害児等への支援の充実・強化、共生型サービスの活用な
ど障害福祉サービスの確保及び充実

(9) 高齢者、障害者、児童の福祉の充実

医療、介護、住まい、介護予防・生活支援サービスを一体的に提供できる「地
域包括ケアシステム」の充実・深化

障害者本人の意思を尊重した住み慣れた地域で希望するサービスを楽しむ
日常生活の支援体制の充実

地域の実情に即した多様な子育て支援体制や子どもたちに質の高い幼児期の教
育・保育を提供できるよう人材の育成・確保を含めた環境の整備

(10) 教育及び文化の振興

教育の振興

地域の実情や教育効果を考慮した学校規模の適正化や学校の実態に即した教育
環境整備の推進

高等学校未設置離島の高校生の島外通学や島外居住に対する支援による修学の
機会の確保及び離島と本土部の交流機会の確保

公立学校の適正配置及び教職員定数、処遇についての配慮

ICT環境を活用した遠隔授業の充実など、地理的制約を受けない豊かな学びの
実現

「高校生の離島留学制度」の継続実施のほか、しまの豊かな自然や文化等を活
用した体験活動や修学旅行の実施による「生きる力」や「郷土を愛する心」
の育成及びしまの活性化

文化の振興

地域が主体となって文化・芸術による魅力を加え、各地の個性を磨き、情報発
信する取組への支援と鑑賞・参加機会の確保

離島に残された貴重な文化財の保存に対する支援や担い手の育成

世界遺産や日本遺産の価値や魅力の発信、資産保護や次世代継承、魅力づくり

による地域活性化への取組を推進

研究機関の整備等

豊富で変化に富んだ海洋資源を活かした、国や大学の研究機関等への調査・研究フィールドの提供及び連携した海洋研究の推進

(1 1) 観光の振興

多様化する旅行者の嗜好に対応し、国内外との交流人口の拡大を実現

「しま旅」の持つ魅力発信

働き方の多様化や移住施策を踏まえた観光まちづくりへの支援やおもてなし力の向上

観光交流スポットやエリアを特定のテーマでつなぐ広域観光ルートの形成促進

多彩な地域資源を活用した観光コンテンツの開発や高付加価値化等の取組支援

主要幹線道路など交通ネットワークの充実や離島交通の結節点としての機能を有する港湾・漁港の整備

(1 2) 国内及び国外の地域との交流の促進

海外との交流の歴史を活用したイベントや体験型観光の充実など多様なプログラムを通じ、国内外との交流人口の拡大を推進

複数の離島間や本土・離島間の周遊促進や長期滞在型交流の推進など、国内外の地域との交流促進

(1 3) 自然環境の保全及び再生

豊かな生物多様性の保全や、地域資源を活用し多様な主体が連携・協力して取り組むための仕掛けや仕組みの検討

関係団体等の適切な役割分担・連携による漂着ごみの円滑な回収処理や発生抑制策の実施

(1 4) エネルギー対策の推進

再生可能エネルギーの最大限の導入、関連事業による雇用の創出や収益促進

再エネ海域利用法に基づく促進区域における洋上風力発電事業に関連した県内企業の参入促進、産業振興

ガソリンをはじめとする石油製品価格の低廉化に向けた取組

(1 5) 防災対策の推進

水害・土砂災害・高波・高潮・海岸浸食・津波等の自然災害に対する基盤整備等防災対策の推進

防災上必要な教育及び訓練の実施、連絡体制や避難場所の確保など、緊急時に対応できる危機管理体制の構築

原子力災害時の防護措置に当たっての配慮

(1 6) 離島の振興に寄与する人材の確保及び育成

各地域において地域づくりをけん引するNPO法人やまちおこし団体等の活動への支援や地域リーダーの育成

地域住民と違った経験・知見を持つ島外人材の誘致、定住・定着による人材活用の場の創出

(17) その他離島の振興に関し必要な事項

感染症が発生した場合等における離島住民生活の安定及び福祉の向上
小規模離島に対する日常生活に必要な環境の維持、生活環境改善に向けた取組支援

4 離島の振興に関する目標

しまの人口の社会増減数（全部離島の5市町）

指標	基準値（基準年）	目標値（目標年）
しまの人口の社会増減数 （人）	901 （R3年）	±0 （R9年）

農林水産物の生産額を維持

指標	基準値（基準年）	目標値（目標年）
年間の農林産物の生産額 （百万円）	18,011 （H30年）	18,011 （R9年）
年間の水産物の生産額 （百万円）	38,749 （H30年）	38,749 （R9年）

農林水産業の担い手を確保

指標	基準値（基準年度）	目標値（目標年度）
年間の新規就農・就業者数 （人）	89 （H29～R3年度の平均）	89 （R9年度）
年間の新規漁業就業者数 （人）	96 （H29～R3年度の平均）	129 （R9年度）

良質で安定した雇用の場の創出

指標	基準値（基準年度）	目標値（目標年度）
年間の雇用機会拡充事業等 による新規雇業者数（人）	171 （R3年度）	250 （R9年度）

滞在型観光の促進

指標	基準値（基準年度）	目標値（目標年度）
年間の延宿泊者数 （千人）	783 （H27年度）	1,078 （R9年度）

交流人口拡大による航路・航空路の輸送客数

指標	基準値（基準年度）	目標値（目標年度）
年間の航路・航空路 輸送客数（千人）	2,739 （H30年度）	2,710 （R9年度）

5 対馬島地域振興計画

基本理念

対馬島では、「自立と循環の宝の島 対馬」を目指し、「ひとづくり」「なりわいづくり」「つながりづくり」「ふるさとづくり」の4つの挑戦により、「若者でにぎわう希望の島」「地域経済が潤い続ける島」「支え合いで自立した島」「自然と暮らしが共存した島」を目指すべき将来像とし、市民協働・市民主体のまちづくりをさらに進めて参ります。

対馬島地域振興基本理念

自立と循環の宝の島 対馬

基本的方向性及び主な施策

（1）ひとづくり...みんなが主役になる希望の島

多様な主体の連携による、魅力的な仕事の創出と労働環境の整備、暮らしの充実、移住・定住支援

出産にかかる負担軽減及び緊急時の救急搬送体制等の確立による妊婦への支援や保育所の適正配備などの子育て支援の拡充

「島っこ留学」制度の充実による学校の活性化や地域の一体化

地場産業と観光業の連携による「第6次産業」としての多角経営体の構築

商品開発や新たなビジネスをトータル的に支援する「ニュービジネスサポートセンター」等の整備

（2）なりわいづくり...地域経済が潤い続ける島

資源管理計画に基づく持続可能な漁業の推進、対馬産水産物のブランド強化やPR、水産業の6次産業化と加工品開発の推進

農林業生産基盤の整備や担い手の確保育成に加え、森林の保全と活用から販路拡大等までの計画的な施策の実施

他の離島等の差別化に加え、量から質への転換によりコアなファンを獲得する

ため、おもてなし意識の向上や、質の高い宿泊施設の整備、観光案内板などの充実に向けた取組を推進

学校給食等への地産地消を推進するため、園芸作物や加工品の少量多目的生産と島内消費者への農産物提供の場の創出による地域内流通体制を構築

新たな商品開発やビジネスの支援を行うワンストップ相談窓口の強化による起業や雇用の創出

(3) つながりづくり...支え合いで自立した島

地域マネージャー制度や創業等支援事業、雇用機会拡充支援事業及び特定地域づくり事業協同組合に関する事業等との連携による地域力の向上と地場産業の育成

国境という地理的条件を活かした対馬独自の生活・文化圏の形成や自然や歴史・文化といった特色ある地域資源の連携を図ることによる国内外との交流促進
へき地における診療環境の充実のためのシステム整備を推進

妊婦の移動にかかる負担の軽減及び緊急時の救急搬送体制の確立

ICT、IoT を活用した高齢者世帯の安否確認など、高齢者をはじめ誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりや社会参加、就労機会の拡充

国道の整備による南北地域間の連携強化、防災機能向上及び県道・市道等の整備による幹線道路ネットワークの形成

防災性や環境に配慮した質の高い住宅の供給や地場産業と連携した空き家等の再整備

部分運転自動化車両の活用検討など新たな島内移動手段の確保

既存高度情報通信ネットワークの高度化整備による Society5.0 の実現

(4) ふるさとづくり...自然と暮らしが共存する島

資源管理型漁業の継続や海洋保護区の設定推進による、海洋における生物多様性の保全と、魚介類の持続可能な供給・水質の浄化・海洋レクリエーションなどの生態系サービスの確保

対馬固有の貴重な動植物相や生物多様性を保全するため、島内環境の調査や対馬博物館を活用した対馬の自然の魅力発信など、島特有の生物多様性に配慮した環境保全及び活用を推進

熱利用するバイオマスボイラの普及も含めた事業性検討や、間伐材などの森林資源を活用した木質バイオマスなどの再生可能エネルギーの導入可能性の検討

「ごみゼロアイランド対馬宣言」に基づく資源循環型社会の形成の取組の加速と、ごみの発生抑制や分別回収、生ごみの堆肥化、リサイクル意識の向上
漂流・漂着ごみ削減のための国際協力体制を構築

6 吉岐島地域振興計画

基本理念

SDGs の理念でもある「誰一人取り残さない。」を掲げ、その実現を目指す基本的な考え方を「協働のまちづくり」とし、一人ひとりの多様性を理解しつつ、寄り添い、ともに助け合い、繋がることを通じて進化を続ける社会を目指すという基本認識を、あらゆる施策に反映しながら、魅力あふれるこれからの吉岐の創造を目指す。

吉岐島地域振興基本理念

誰一人取り残さない。
協働のまちづくり。

基本的方向性及び主な施策

(1) 希望の仕事があり安心して働くことができ、起業もできる

農林業・水産業・商工業・観光業の更なる生産性向上や雇用力を高める取組を推進し、AI やIoT、ロボットなどを活用し、DX を推進すると共に先端技術の積極的な導入による稼ぐ力のある産業育成、付加価値の高い企業誘致から、若者やUI ターン者でも起業しやすい環境づくりを進め、次世代産業を創出する。

スマート農業・水産業（ICT 等先端技術）の導入・普及

本土地区との輸送コスト低減を図るための支援

吉岐テレワークセンターを中心とした、新しい働き方を実践する人や企業等の受入、情報通信関連企業やベンチャー企業の誘致。

実証事業等の誘致やAI やIoT などの先端技術の導入による次世代産業の育成

吉岐市ふるさと商社を活用した商談会等の展開による、市内事業者とのマッチングや吉岐製品の販路開拓を促進

(2) 結婚・出産・子育て・教育の希望がかなう

出会い・結婚から、出産、子育て、教育までの切れ目のない支援を行うことで、安心して子育てができる環境を創出する。

育児と仕事の両立を支援する体制づくり

妊産婦、乳幼児から高齢者まで、ライフステージに応じた健康づくり・予防対策

「しまごと博物館」「しまごと大学」「しまごと元気館」の3つのしまづくりの方向性に基づく吉岐市立一支国博物館・長崎県埋蔵文化財センターの体験、研究、学習、観光等の舞台としての活用と持続的な活性化

ICT を活用した遠隔教育や、いきっこ留学制度による離島留学生の受入による学校からの離島活性化の推進

(3) 地域コミュニティが守られ、安心して健康に暮らせる

小学校区を単位とした「まちづくり協議会」を設置し、地域コミュニティの活性化に取り組むとともに、健康増進の強化・医療体制の充実や、高齢者福祉、障害者福祉の充実など、地域共生社会の実現に向けた取組を推進する。

地域課題解決に向けた遠隔診療の導入

介護福祉士の資格取得支援や留学生の受入などによる、老人福祉の充実、介護人材の育成、定住・交流人口の拡大と安定的な人材を確保できる体制づくりの充実

「社会的障壁」を除去するための広報等の強化や相談体制の整備、各種障害者団体との連携による社会参加等への促進

住民、ボランティアの参加による地域福祉推進体制の確立

(4) 自然・歴史文化が調和した持続可能な社会基盤が整っている

地球規模での環境問題を意識し、水素エネルギーなどの再生可能エネルギーの開発等に取り組むとともに、次世代通信規格に対応した情報基盤の整備や、公共交通体系の充実、都市施設の維持・管理、防災体制の強化など、持続可能な社会基盤を創出する。

水素(貯蔵)を活用した再生可能エネルギー有効利用の実証実験を活かした応用展開や民間レベルでの商用化の推進

洋上風力発電の導入可能性の検討及び理解醸成の促進

UI ターン者等の受入、定住促進のための空き家活用に係る費用の支援

地域の実態に応じた排水処理施設の整備

ハザードマップの作成支援や防災教育の推進などで住民の防災意識の高揚、自主防災体制の確立を推進

(5) 関係人口を増やし、壱岐への新しい人の流れをつくる

壱岐の魅力を国内外に発信し、観光客はもとより UI ターン者の更なる増加を推進する。また、SDGs 未来都市の強みを活かし、関係人口の増大を図り、新たな人の流れを創出する。

教育旅行受入の継続に加え、教育旅行向け SDGs 体験プログラムや歴史遺産に関する文化体験型観光の開発促進

島民をはじめ観光業者や関係団体、市が一体となったおもてなし力の向上への取組

地域おこし協力隊など外部人材の積極的活用及び大学や企業との連携協力体制の構築による地域力の向上と新たな地域の担い手の確保・育成の推進

(6) 協働のまちづくりのもとで、効率的で質の高い行政運営が行われている

限られた財源を有効に活用し、多様な住民ニーズに応える質の高い行政サービ

スを持続的に提供できるよう、職員の資質向上や能力開発を目的とした多様な研修を実施し、政策評価・事務事業評価による効果的・効率的な事業展開や、官民連携の推進を図る。

既存の各種団体等の協働による地域課題の解決に向けた取組

地域固有の課題解決や、農業、ビジネス、公共サービス等へ利用・提供できる

5G の情報通信網の早期整備

情報活用の多様化に対応できる施策の構築や人材の確保・育成

7 五島列島地域振興計画

基本方針

(1) 世界遺産等の地域資源を活かした交流でにぎわうしまづくり

世界文化遺産、日本遺産やジオパークなどの優れた歴史や文化資源と新鮮な魚介類、五島牛、五島豚、五島手延うどん等多くの魅力的な物産資源を最大限に活用し、見せるだけではない、特別な体験を提供する“体験型観光”を展開し、国内及び東アジアをターゲットに誘客拡大を図り、滞在型コンテンツの開発等により五島列島地域全体の広域周遊観光を促進する。

(2) 地域が支えあい、愛着と誇りを持って住み続けられるしまづくり

集落の維持活性化や、道路網や港湾・漁港施設の整備並びに地域間の人的ネットワークづくり並びに持続可能な公共交通網の構築と運賃の低廉化に取り組むことにより定住人口の拡大を図る。

また、地域農業の育成や地域ビジネスの展開による活力と魅力あふれる農山村づくりや地域の状況に応じた医療・介護・保護・福祉の連携、在宅医療を推進する。

(3) 五島列島の優れた地域資源を活かした産業振興と雇用の創出

魅力的な物産資源を活用した商品開発や高付加価値化によりしまの製品のブランド化及び販路拡大に取り組むことにより、生産者の所得向上を図るとともに、自然環境を活用した再生可能エネルギーの利用促進を地域振興につなげるための施策に取り組む。

(4) 五島列島の今を支える人、未来の人を担う人を育むしまづくり

域内高校生の島内就職の促進とともに、リモートワークのための環境整備、五島列島地域の魅力を活かしたワーケーションの推進など、都市部等からの移住及び定住の促進を図る。

基本理念

五島列島地域振興基本理念

上五島地域

「つばき香り豊かな海と歴史文化を育む自立するしま」を目指す。

下五島地域

自然、歴史、文化などの豊富な地域資源を最大限に活用し、再生可能エネルギーによるしまづくりなど、地域における創意工夫を生かしつつ、自然動態の改善や転出の抑制、UI ターン促進による社会増の定着化を図り、人口減少の抑制と地方創生の実現を目指すとともに、「スマートアイランド」の実現や地域経済の振興に繋がる施策の展開により、誰もが五島のすばらしさを実感し、夢を持ちやすさのある暮らしを送ることができる「しま」を目指す。

基本的方向性及び主な施策

< 上五島地域 >

(1) 安心で魅力ある「定住のしま」

安心して暮らし続けられるまちづくり

デジタル技術やデータを有効活用した住民サービスの業務効率化に向けた取組
自然環境の保全、再生可能エネルギーへの転換など、環境に配慮した循環型社会の実現に向けた各種取組の推進

人を大切に、人を守るまちづくり

若者の島内定着推進のための魅力を感じる住環境や子ども・子育て支援の充実
多様な人材が活躍できる魅力あるまちづくり
高齢者等が元気で安心した生活ができる体制づくり

人をつくり、地域を守るまちづくり

魅力ある学校等の活性化、拠点強化に向けた支援などの教育環境の充実や郷土の愛着と誇りを育む取組を推進
集落支援員や地域おこし協力隊、地域担当職員の配置などによるコミュニティ活動の支援

(2) 地域資源を活かした「産業のしま」

漁場保全、漁業基盤強化の支援やインフラ整備、水産資源の管理、流通など多様な観点から水産業の活性化施策を展開
既存工業の振興、地域資源を活かした加工業の育成・強化による新しい地域企業づくり

(3) にぎわいを創る「交流のしま」

世界遺産登録などの強みを活かし、島の素材を活用した滞在プランの推進や、観光客受入体制の整備
海上交通の維持・安定化及び利便性の向上
町内の歴史・文化資源の保存・継承及び地域文化活動の支援

< 下五島地域 >

(1) 五島の恵みを活かし、雇用を生み出す“しま”をつくる

起業・創業支援の強化による雇用の増大や新産業の創出の推進
ロボットやIoTなどの次世代産業の創出、地場産業との連携や関連企業・研究機関等の誘致
離島産品の移出拡大を目指した取組

(2) 五島の魅力を発信し、世界に誇れる“しま”をつくる

おもてなしの心の醸成と来島者のニーズに応えられる環境整備
外国語メニューの導入や翻訳システムの導入支援などの外国人訪日旅行（インバウンド）対策の充実
UIターン者の定住に関する不安解消に向けた環境整備の取組
スポーツ合宿の誘致と既存スポーツ施設等の充実

(3) 安全・安心で住みやすさ日本一の“しま”をつくる

地域福祉の充実、健康づくりの推進と保健・医療（遠隔医療）・介護、地域の連携による住みやすいしまの実現
持続可能な新交通システムの運用や五島つばき空港における航空機給油機能の整備について検討

(4) 五島の宝・子どもが育ち、輝く“しま”をつくる

子育て環境の充実
小学生からの英語習得事業「プロジェクトG」の推進や、ICT教育の強化、県立高等学校の魅力化によるグローバル人材の育成
「しま留学」の推進による心身ともに健康な子どもの育成と島内外の子どもたちの交流による人材育成

8 平戸諸島地域振興計画

基本理念

それぞれのしまが持つ魅力や資源を後世に継承していくため、住む人が安全で安心して暮らしていける生活環境の整備や産業基盤の確保に加え、ICT 技術を活用した地域課題解決や、島外の企業や人材と協力・連携した地域資源の産業化の取組により、人口減少の抑制と交流人口の拡大を図る。

平戸諸島地域振興基本理念

『 (対話・連携・協力)
地域の力 + 島外の力 = 住み続けられる島』

基本的方向性及び主な施策

(1) つなぐ・・・交通アクセス・物資の流通

渡航費用の軽減やダイヤの利便性向上など、本土へのアクセスを改善することにより、離島住民の生活水準の向上と本土との交流の活性化を図る。

離島航路の運賃低廉化の手法検討

安全・快適な港湾漁港施設・設備の整備

貨物輸送の運航や輸送コストの実態把握と流通構造の改善

(2) つくる・・・産業の振興

基幹産業である農林水産業を将来につなぐため、担い手の確保と併せ、再生可能エネルギー及びスマート技術の導入に取り組み、生産者の所得向上と経営の安定を図る。

しまの価値を高める新商品開発と輸送コストの低廉化

- ・肉用牛の増頭対策による所得確保を図るとともに、キャトルセンターの有効活用や耕種農家との連携によるコスト低減による所得向上を推進（平戸市）
- ・国の重要的建造物群保存地区の街並みを活用したまちづくりや、スギ花粉患者のセラピーツアーの取組（大島（平戸市））
- ・体験型観光など離島を含む広域的な観光ルートの確立（青島・飛島（松浦市））
- ・世界文化遺産を活用した周遊ルート、観光客受入体制及び商品造成などの強化（黒島（佐世保市）・小値賀町）

各産業の担い手確保・育成

- ・新規就業者の技術や経営に対するフォローアップ支援や、農山漁村の魅力発信によるUIターン者の呼込

(3) まもる・・・しまの暮らし

適切な医療・介護・福祉サービスの充実と、安心して子どもを産み育て、教育を受けることができる環境整備に取り組む。

医療従事者の確保や緊急搬送体制の確立及び情報通信機器を活用した遠隔医療の導入など医療体制の強化

本土への交通費軽減のための補助制度の継続

本土との連携による在宅を中心とした介護サービスの充実や、島内における人材確保・民間事業者の参入促進

多様な子育て支援や本土との教育環境の格差是正のための ICT 教育の導入

(4) にぎわう・・・人の交流

世界文化遺産などの優れた地域資源の潜在力を最大限に活用するため、保全・体験プログラムの充実、魅力発信等に取り組み、交流人口増加を目指す。

体験型観光コンテンツの拡充・高付加価値化や年間を通じた観光客の受入体制整備を推進

リモートワークやワーケーションの受入、地域おこし協力隊の活用、地域の特性を活かした体験活動等を通じた関係人口の創出

9 西彼諸島地域振興計画

基本理念

西彼諸島地域振興基本理念

蠣浦大島地域（江島、平島）は、美しい自然景観、イセエビ等の水産資源などの都市部にはない島特有の地域資源を有効に活用し、地域経済の安定的な発展と定住人口の確保を図る。

松島地域の松島は、基幹産業である農漁業などの振興を図るとともに、農漁業体験、近海の美しい海中景観、炭鉱遺構などの地域特性を組み合わせたアイランド・ツーリズムの取組を促進し、観光振興による地域経済の活性化を図る。

松島地域の池島は、貴重な産業遺産を活用した観光事業の推進による交流人口の拡大により、地域活力の維持増進を図るとともに、航路の維持をはじめ、医療・福祉・生活環境の整備など地域住民が安心して暮らすことができる「しまづくり」を推進する。

高島地域は、海や軍艦島等の近代化産業遺産群をはじめとする資源を活用した観光レクリエーションの振興、唯一の住民の交通手段である航路の維持・確保及び高齢者が安心して暮らせる体制の整備を図ることにより交流人口、定住人口の増加に努める。

基本的方向性及び主な施策

(1) 交通施設等の整備

蠣浦大島地域では、特定有人国境離島地域社会維持推進交付金による支援や漁協運搬船の活用による流通効率化により、流通コストの低廉化を図る。

(2) 産業の振興

蠣浦大島地域は、付加価値の高いイセエビ等のブランド化による水産業の振興を目指す。うち、江島では「手造り醤油」の製法の次世代への伝承に努める。

松島は、水産資源の保護増殖のため、種苗法流などを実施し、資源管理型及び栽培漁業の振興を図るとともに藻場の造成に取り組む。

また、活力ある漁村づくりを構築するため新規漁業就業者の受入等について漁協と連携を図り、後継者育成の支援に努める。

高島地域は、フルーティトマトなどの特産品について、品質の安定化によりブランド力を高め、地域外への販売ルート強化で、安定した経営により島内での雇用の確保に努める。

(3) 就業促進

松島においては、火力発電所におけるカーボンニュートラルの実現に向けた「GENESIS 松島計画」の成功に向けて連携した取組を推進し、雇用機会の創出・拡大を図る。

(4) 医療・福祉の充実

本土の医療機関等と連携し、医療従事者や救急搬送体制の確保に努めるとともに、診療施設や遠隔医療が可能な医療機器等の整備・充実に努める。また、介護サービスの充実、高齢者見守り活動の促進等を図るとともに、島外での出産に要する費用に対する支援や、島内での保育の確保に努める。

(5) 観光の振興及び交流の拡大

池島は、旧炭鉱施設の適正な維持管理を行うとともに、産業遺産を活かした観光ルートの開発や体験型観光による交流人口の拡大を図る。

高島地域は、体験型観光施設を活用したイベントの開催や海をテーマとしたスポーツ・レクリエーションの開催及び海水温浴施設を活用した交流人口の増加を図る。また、世界遺産構成資産である端島炭坑（軍艦島）や高島炭坑（北溪井坑跡）の施設整備を推進し、歴史・文化の発信地として活用する。

(6) エネルギー対策

蠣浦大島地域では、江島沖海域が「再エネ海域利用法に基づく促進区域」として指定されており、洋上風力発電による新産業創出と関連事業の活性化を推進する。